

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第39回】

PTAがつくり運営する「小鳥の村子ども館」

札幌市立藤の沢小学校長 本間 文敏

「小鳥の村子ども館」は、平成19年度に今後のPTA活動のあり方についての保護者アンケートを行ったところ、約6割の保護者が「放課後の子どもの居場所づくり」を希望したことから取組が始まりました。そこで、PTA独自でミニ児童会館のような事業を始めるべく、様々な検討・調整を進めました。札幌市からの支援を受け、PTAの自主事業として20年度より開設・運営することになりました。保護者は、参観懇談などの学校行事にも安心して参加できるようになりました。放課後の子どもの居場所として、保護者の不安などを取り除き、子どもの体験の場として喜ばれています。

活動内容として、次の3つに分けることができます。①定例行事：〔囲碁・将棋大会、よみきかせ、紙飛行機コンテスト、コマ・けん玉検定など〕 ②季節の行事：〔こいのぼり、七夕、夏冬休み工作会、百人一首、クッキング、お正月、節分、クリスマス、ひな祭り〕 ③特別行事：〔人形劇公演、おもしろ実験、カレンダー作り、工作の日、危険予知トレーニング、折り紙・ぬり絵コンテスト、山菜とり、ハイキング、環境教育モデル教室、スポーツなど〕。時には地域の方が先生役をしてくださるなど、交流が広がりつつあります。

以上のような活動を通し、子どもたちは異学年交流の機会をいっそう広げ、教え合い、思いやりや感謝の気持ちを大切にしながら、基本的な社会のルールを学び、安心して生き生きと過ごしております。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第137号に掲載）